

第3回あきる野市花いっぱい運動推進協議会会議次第

令和7年3月26日（水）

午前10時から

あきる野市役所5階504会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

（1） 令和6年度の活動報告について 資料1

（2） 令和7年度の事業計画及び予算について 資料2－1及び2

（3） その他 資料3

4 閉 会

①令和6年度花いっぱい運動に関する活動報告

1 花いっぱい運動推進協議会の活動

5月28日 花いっぱい運動推進協議会委嘱書交付式及び6年度第1回会議

7月 5日 花壇コンクール（17町内会・自治会、18花壇）

10月 2日 視察研修及び第2回会議

視察地：調布市

3月26日 第3回会議

（1）花壇コンクールについて

花壇コンクールは、花いっぱい運動のより一層の推進とPRを目的として、花いっぱい運動に参加している町内会・自治会の春植え花壇を対象に実施している。

審査の方法は、花いっぱい運動推進協議会委員が審査員となって各花壇を巡回し、以下の4つの審査項目についてそれぞれ10点満点で審査して、合計得点で選出した。

① 草花の生育状況

- ・花や葉に十分に栄養や水分が行き届いているか。
- ・花や葉にしおれなどがなく色つやが良いか。

② 花壇のデザイン

- ・花の種類、色、形、高さ、配置などを工夫して花を植えているか。
- ・花壇の形などを工夫しているか
- ・飾り方を工夫しているか。

③ 花壇の手入れ状況

- ・花柄摘み、雑草の処理、灌水、病虫害対策、水はけなど

④ 花壇への取り組み姿勢・総合評価

令和6年度は、17町内会・自治会から18花壇の参加があり、「道路部門」「公園・広場部門」別に金賞、銀賞、銅賞を選出した。入賞した町内会・自治会には、入賞看板を作製し花壇に立てていただいている。また、審査結果については、市の広報及びホームページに掲載し、花いっぱい運動をPRした。

【 花壇コンクールの講評 】 ※協議会から花壇コンクール参加団体へ送付した講評

各団体の花壇は、花壇の場所によって、土の中に石が多かったり、水の確保が大変など、様々な制約がある中で、水やりや除草、花柄つみなど、こまやかに管理されており、色鮮やかな美しい花が咲いていた。また、花壇のデザインについては、テーマを念頭に花で表現するための、それぞれ工夫が凝らされており、個々の花壇の特性に合わせて、植える花の種類や花壇のデザインなどがよく研究、実践されていると感じた。

年々花壇のレベルが上がっており、参加している全団体が本市の花いっぱい運動を支えていただいていると改めて実感した。

【 審査結果 】

部門	金賞花壇	銀賞花壇	銅賞花壇
道路部門	西ヶ谷戸町内会	二宮町内会	三内自治会
公園・広場部門	油平自治会	富士見台自治会 雨間町内会	油平本町町内会 小中野自治会 平沢町内会

公園・広場部門
油平自治会
金賞花壇



道路部門
三内自治会
金賞花壇



(2) 先進地視察について

視察については、あきる野市の花いっぱい運動を積極的に推進し、今後の事業の参考になる事柄などを考慮しながら視察先を決定し実施している。令和6年度は、調布市を視察した。

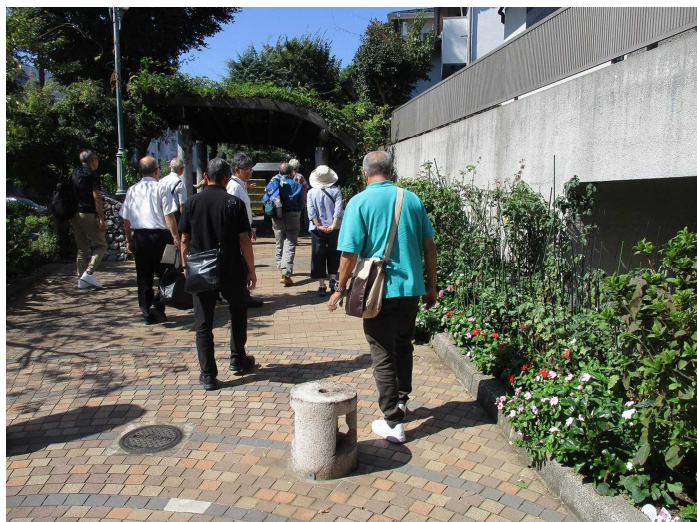
【 視察目的 】

町内会・自治会だけでなく、一般市民参加による花いっぱい運動が活発な地域を視察し、今後の花いっぱい運動事業の参考にすること。

【 視察内容 】

調布市役所会議室にて、調布市環境部緑と公園課の職員から、調布市花いっぱい運動及びおもてなしガーデンについての説明を受けた。その後、調布市花いっぱい運動に参加している花壇3か所を見学した。

質疑応答や意見交換を通じて、町内会・自治会だけでなく一般市民も参加する花いっぱい運動の補助金制度や花いっぱい運動参加要件、また調布市内の駅前にあるおもてなしガーデンの管理方法などを学んだ。



2 令和6年度 事業経過

(1) 町内会・自治会が参加する事業

① 実施方法

花いっぱい運動に参加を希望する各町内会・自治会の花壇の面積に、1㎡当たり1,584円を乗じて得た額の10分の8を補助金として支給した。補助対象は、花の種苗、球根、土及び肥料の購入に要する経費とした。また、植え付け期間は5月末から11月末までとし、多くの町内会・自治会が春季と秋季の一斉清掃日に合せて実施している。令和6年度は39団体が参加した。

② 支援花壇について

支援花壇とは、花壇コンクールに入賞した団体に、花苗や土、肥料を配布し、秋季の植付けを行ってもらった花壇のことである。令和6年度の支援花壇は、以下のとおりである。

令和6年度秋季支援花壇一覧

町内会・自治会名	場 所	秋季植え付け数
二宮町内会	二宮本宿交差点	花苗×179
雨間町内会	鳥居場会館西側	パンジー×94、ビオラ×95
平沢町内会	平沢会館	パンジー×120、葉ボタン×12
油平自治会	秋川駅南口運動場内	金魚草×72、ビオラ×98、ストック×48、ノースポール×72、ハボタン×30
油平本町町内会	町内会農園	パンジー×99、スミレ×99、ビオラ×100

富士見台自治会	富士見台自治会北公園	パンジー×220、スマレ×220、ビオラ×221
西ヶ谷戸町内会	いなげや新草花店東南	パンジー×100、スマレ×104、ビオラ×101
三内自治会	三内中央通り	パンジー×96、ビオラ×96
小中野自治会	雪沢公園	チューリップ球根(1球)×30、チューリップ球根(5球入り)×2、パンジー×360

(2) 花づくりボランティアグループが参加する事業

花づくりボランティアグループは、現在以下の2団体である。楓ヶ原会館のビニールハウスで種から花を育苗し、年間を通じ市役所庁舎花壇、五日市出張所の花壇等に育てた花を供給し、継続的に花壇の維持管理を行い、四季を通じて色鮮やかな美しい花を咲かせている。

自主グループ（種から育てるボランティアグループ） R6. 4. 1

1	なでしこの会	平成 7 年結成	会員 5 人
2	さくら草の会	平成 1 1 年結成	会員 1 1 人

花苗供給先

市役所庁舎花壇、五日市出張所、中央公民館、都立あきる野学園、五日市センター、マールボロウ通りプランターほか

(3) オープンガーデン事業

・花いっぱい運動推進協議会で視察検討を重ね、平成18年度から開始した事業である。あきる野市のオープンガーデンは、お庭を公開していただいている方の善意と好意によってボランティアで実施している。毎年、登録していただいたお庭の地図や公開期間等を掲載したオープンガーデンマップを作成し、公共施設での配布やホームページで公開をしている。オープンガーデンの年間見学者の合計は、約3,000人（令和6年度）となっている。

・例年、オープンガーデン事業のPRを目的に、オープンガーデン写真展を中央図書館、東部図書館エル、五日市出張所、あきる野市役所の4か所で開催している。また、あきる野市役所の展示期間において、オープンガーデン登録者の協力のもと、実際の鉢植えを展示している。

・例年、オープンガーデンをバスと徒歩で見学する「オープンガーデンめぐり」事業を実施している。事業実施後に参加者を対象としたアンケートでは、参加者の満足度は高く、草花への関心の高さがうかがえた。

令和6年度	オープンガーデン公開軒数（地区別）		花めぐりウォーキング参加者数	
	東秋留地区	3軒	5月14日	15人
	西秋留地区	3軒	5月20日	7人
	多西地区	1軒	合計	22人
	増戸地区	1軒	(ウォーキングガイド 野口金雄氏)	
	五日市地区	1軒		



令和6年度オープンガーデンめぐりの様子

・「令和7年度オープンガーデン事業打合せ会」を実施した。令和7年度オープンガーデンマップやポスターのデザイン、今後のオープンガーデン事業について打合せした。打合せ中は庭作りや花の生育状況についてなど庭主同士の活発な交流が行われた。

(4) レンゲ草復活事業

当協議会が平成17年度の検討報告書の中で提案したレンゲ畑復活事業については農林課が担当し、平成21年度から行っている。

令和6年度は、引田地区及び五日市（小庄）地区の9,833㎡の田んぼにレンゲを植え付けている。当事業は、今後も継続していく予定である。

3 参考資料

(1) 事業費の推移

年度	金額（円）	説明
令和元年度	2, 8 8 5, 8 9 3	草花苗購入費補助金（参加 45 団体、補助 45） 1, 962, 401 円 支援花壇用花苗購入費（秋季 11 か所） 542, 738 円 その他（ボランティア 2 団体補助金、協議会経費、 事務経費外） 380, 754 円
令和２年度	2, 5 3 7, 0 4 2	草花苗購入費補助金（参加 41 団体、補助 41） 2, 078, 482 円 花苗・培養土・肥料購入費（33 団体） 250, 810 円 その他（ボランティア 2 団体補助金、協議会経費、事務 経費外） 207, 750 円
令和３年度	2, 5 9 7, 7 2 3	草花苗購入費補助金（参加 42 団体、補助 42） 2, 131, 965 円 支援花壇用花苗購入費（秋季 10 か所） 286, 957 円 その他（ボランティア 2 団体補助金、協議会経費、事務 経費外） 178, 801 円
令和４年度	3, 1 7 7, 2 4 4	草花苗購入費補助金（参加 42 団体、補助 42） 2, 285, 035 円 支援花壇用花苗購入費（秋季 10 か所） 313, 971 円 その他（ボランティア 2 団体補助金、花いっぱい運動 周知看板、協議会経費、事務経費外） 578, 238 円
令和５年度	3, 1 3 8, 7 0 1	草花苗購入費補助金（参加 41 団体、補助 41） 2, 138, 638 円 支援花壇用花苗購入費（秋季 10 か所） 288, 720 円 その他（ボランティア 2 団体補助金、花いっぱい運動周 知看板、協議会経費、事務経費外） 711, 343 円
令和６年度	2, 6 9 0, 0 5 6	草花苗購入費補助金（参加 39 団体、補助 39） 2, 045, 246 円 支援花壇用花苗購入費（秋季 10 か所） 301, 674 円 その他（ボランティア 2 団体補助金、協議会経費、ガー デニング講習会経費、事務経費外） 343, 136 円

(2) 花苗植え付け状況の推移

年度	春の植え付け	秋の植え付け
元年度	45団体へ補助金を交付し、各団体が任意に花の種類を決定し、植え付けを実施した。 45団体合計 20,648株分	パンジー、ビオラ、ノースポール、ハボタン、チューリップ球根など 計5153株 花壇コンクールで入賞した11団体を支援花壇として認定し、各団体が選定した花苗、土、肥料を支給
2年度	41団体へ補助金を交付し、各団体が任意に花の種類を決定し、植え付けを実施した。 41団体合計 18,660株分	花壇コンクールが中止となり、入賞団体への花苗の支給ができないため、花いっぱい運動参加団体で希望する団体に面積に応じて、花苗、培養土、肥料を購入し支給した。 33団体合計 250,810円
3年度	42団体へ補助金を交付し、各団体が任意に花の種類を決定し、植え付けを実施した。 42団体合計 19,166株分	ハボタン、パンジー、ビオラ、スマイル、金魚草など 計2,558株 花壇コンクールで入賞した10団体を支援花壇として認定し、各団体が選定した花苗、土、肥料を支給
4年度	42団体へ補助金を交付し、各団体が任意に花の種類を決定し、植え付けを実施した。 42団体合計 20,616株分	ハボタン、パンジー、ビオラ、スマイル、スノーポールなど 計2,455株 花壇コンクールで入賞した10団体を支援花壇として認定し、各団体が選定した花苗、土、肥料を支給
5年度	41団体へ補助金を交付し、各団体が任意に花の種類を決定し、植え付けを実施した。 41団体合計 20,252株分	ハボタン、パンジー、ビオラ、スマイル、チューリップ球根など 計2,423株 花壇コンクールで入賞した10団体を支援花壇として認定し、各団体が選定した花苗、土、肥料を支給
6年度	39団体へ補助金を交付し、各団体が任意に花の種類を決定し、植え付けを実施した。 39団体合計 19,368株分	ハボタン、パンジー、ビオラ、スマイル、チューリップ球根など 計2,676株 花壇コンクールで入賞した10団体を支援花壇として認定し、各団体が選定した花苗、土、肥料を支給

令和7年度 花いっぱい運動事業計画（案）

		日程	行事等	備考(市からの連絡等)
4月	上旬		・花いっぱい運動参加事業費補助金交付申請	・申請書の送付
5月	中旬	14日(水)、16日(金)	・オープンガーデンめぐり	
	下旬		・町内会・自治会花いっぱい運動植え付け (実施期間: 令和7年5月24日から 令和7年11月30日まで)	
6月	上旬			・花壇コンクール募集通知の発送
7月	上旬	日() (予備日 日())	・花壇コンクール申込書提出期限 ・花壇コンクール 令和6年度は7月5日(金)に実施 17団体18花壇参加。現地審査を行った。	
8月	上旬			・来年度の花いっぱい運動への参加 アンケート調査票発送(全町内会・ 自治会)
9月 5 10月	上旬	日()	・先進地視察 令和6年度は10月2日(水)実施 視察先: 調布市	
	中旬		・オープンガーデン写真展 (令和7年10月中旬～令和7年12月下旬まで)	
11月	下旬		・花いっぱい運動(支援花壇)秋の植え付け (実施期限は令和7年11月30日まで)	
2月			・オープンガーデン打合せ会	
3月			・花いっぱい運動推進協議会会議 (令和6・7年度活動報告等)	
未定			花作り講習会	

令和 7 年度花いっぱい運動推進事業関係予算（案）

項 目	令和 6 年度	令和 7 年度	説 明
花いっぱい運動草 花苗等購入費補助 金	2,326,000	2,199,000	町内会・自治会及び自主グループ（2 団体）の花壇へ植える花の苗、球根、花の種、土、肥料の購入費に対する補助金。 ※過去の花いっぱい運動参加団体数 3 年度 4 2 団体参加 4 年度 4 2 団体参加 5 年度 4 1 団体参加 6 年度 3 9 団体参加 7 年度 3 7 団体参加 ※自主グループに対する補助金 1 団体 5 4, 0 0 0 円×2 団体 = 1 0 8, 0 0 0 円 補助金計算式：花壇面積×1,584 円 {12 株/㎡×@120 円×1.1（消費税）} ×80%補助対象経費：花の苗、球根、花の種、土、肥料
消耗品費	456,000	438,000	支援花壇（花壇コンクール入賞花壇）へ植える秋季花苗等購入経費及び花づくり講習会用消耗品費外 秋季花苗予算 450 ㎡×6 株×110 円×1.1=326,700 円 （花苗等の種類については、入賞団体が選定。土、肥料も対象）
作成委託料	78,000	70,000	花壇コンクール入賞看板作成委託料
合計	2,860,000	2,707,000	

【 オープンガーデン事業の今後の展開 】

【 オープンガーデン事業の経緯 】

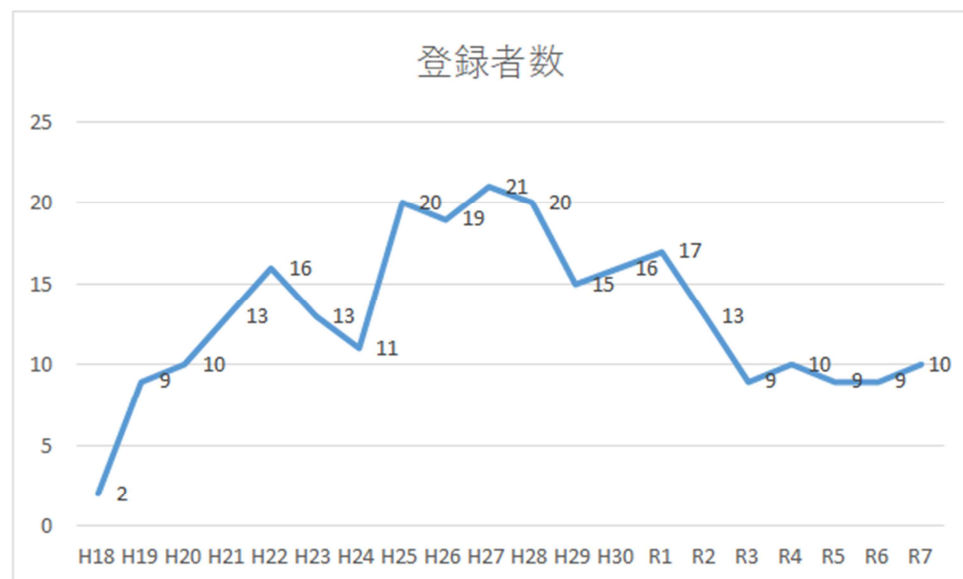
オープンガーデンは、新たな場所を必要としないこと、花好きな人が自分のペースで行えること、花を通じて人と人の交流の輪が広がることなどから、花いっぱい運動の一層の推進のために始まった事業である。

オープンガーデン登録者は、あくまでボランティアで参加していただいていて、皆様のご厚意とご協力により成り立っている。

【 現状 】

- ・庭主さんが高齡
- ・新規勧誘をしているが、登録件数が増えない

※参考：登録者推移



- ・瀏上、牛沼、草花、伊奈にあるお宅をお声がけした。(R5以降（コロナが落ち着いてから）)

「趣味でやっているから登録までしたくない」、「息子からも物騒だからやめとけと言われている」、「常にオープンだし、わざわざ登録はしたくない。あと、物騒だからなんかあっても嫌だ。」などの理由から断られてしまった。
→ 時代背景（コロナ、強盗事件、振り込め詐欺当）の変化により、”登録”することに対する抵抗感が強まっている。

- ・庭主へ行ったアンケート調査において、高齡化のため事業継続は難しいのではないかというご意見をいただいている。

・2月下旬に実施したオープンガーデン庭主の打合せ会では、今後のオープンガーデン事業について、事業継続を望むご意見がある一方、高齢のため身体的に厳しいというご意見があった。具体的意見は、以下のとおりである。

プラスな意見	マイナスな意見
・花を自分だけで楽しむより、訪れた人たちとの交流を楽しめるから事業継続して欲しい。 ・リピーターがいて嬉しい。見てくれていることが励みになる。 ・出来る限り続けて皆さんに喜んでもらいたい。リピーターが知り合いを連れてきてくれるから大変ありがたい。 ・老人ホームや病院のバスが通りがけに車内から見てくれている。高齢者の方が興味がある。 ・敷地外からなら見てOK、道路から見るタイプのお庭が増えれば良い。また、オープンガーデンめぐりの時だけ公開しマップには載せないというお庭があっても良い。	・オープンガーデンの見学者とオープンガーデンめぐりの参加者が少なくなっていると感じる。 ・やりたい気持ちはあるけど、年齢には勝てない。 ・身体の痛みと戦いながら庭作りをしている。 ・脚立に上るのが危なく感じてきた。いつまで続けられるかな？という感じではある。